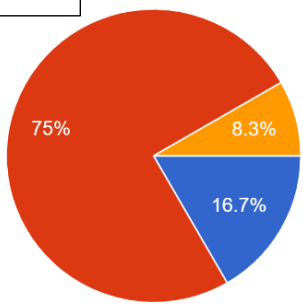
笛川小学校　令和５年度　学校評価（自己評価）分析（比較）

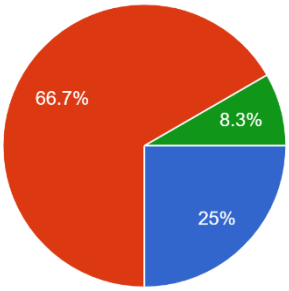
１．学びづくり（確かな学力）

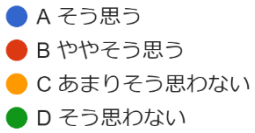
①「やまなしスタンダード」の確実な実施や、ICT 機器等の積極的な活用により、どの子にとっても「楽しい」「わかる」「できる」授業を行っている。

７月



１月

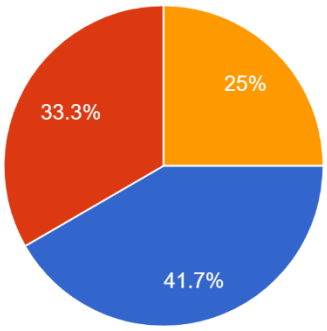




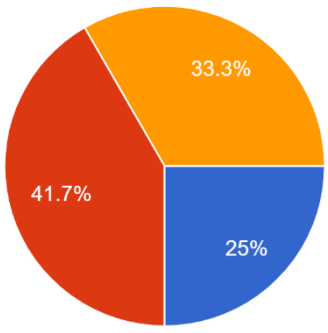
７月、１月ともに肯定的意見は、９１．７％で同じである。８．３％が、「そう思わない」という否定的意見に変わった。理由としては、ICT 活用への慣れに差が出てきていると言える。ようやく全学級に大型ディスプレイが設置できたので、学校全体で活用が進むように、今後も研修を進めていく。

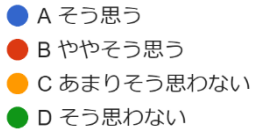
②家庭と連携し、家庭学習を習慣化させている。

７月



１月

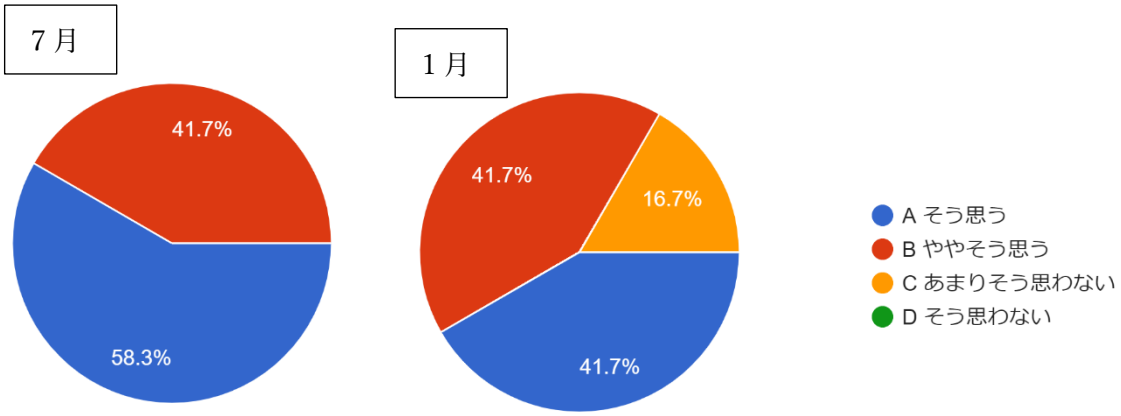




「あまりそう思わない」が増えたことに対して注視する必要がある。
家庭の意識に差があることで、取り組みが停滞してしまった影響がある。
学校全体で学力向上のための、マイノートの取り組みについて、共通理解のもと取り組むこと、家庭への啓発を図ることが求められる。

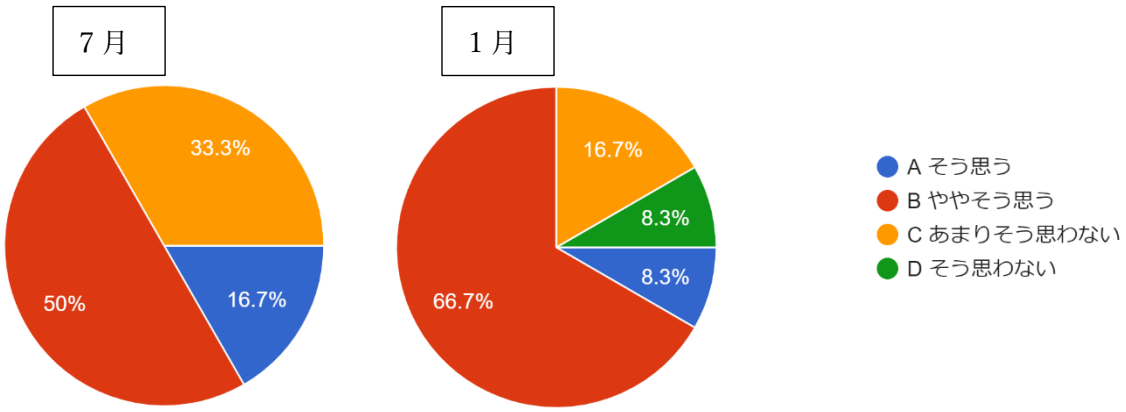
２．心づくり（豊かな心）

③「あいさつ・笑顔・返事」を意識した人間関係を築けるように取り組んでいる。



「あまりそう思わない」が増えたことに対して注視する必要がある。
校長先生の毎朝の取り組みが、全校児童に波及していくように、各クラスでも再度指導が必要である。職員全体も再認識して取り組む。挨拶は、できて当たり前、できないとだめと二択で判断されることが多い。まあまあできるという選択がされない。特に、中・高学年への挨拶を教師も意識して取り組み、できたら褒めることを継続していく。

④地域の方々との交流活動を通して豊かな心を養うように取り組んでいる。

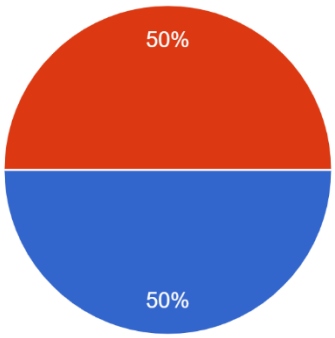


肯定的意見が８．３％増え、成果が上がっていると考える。
コロナ禍と比べ、地域との交流ができるようになってきたことの成果である。一方で、まだまだ交流ができていないと感じているという分析ができる。来年度の教育課程を編成するうえで、地域の人材活用や交流の視点で見直しをする必要がある。

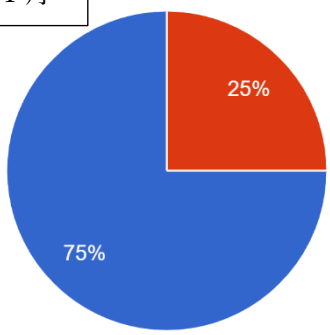
3. 体づくり（健やかな体）

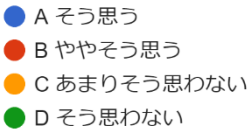
⑤歯磨き指導、食育指導、保健指導、休み時間や放課後の遊びを通して、健康でたくましい心や体を育てている。

7月



1月

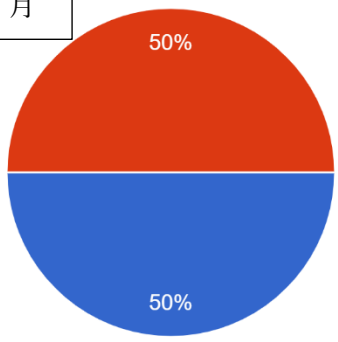




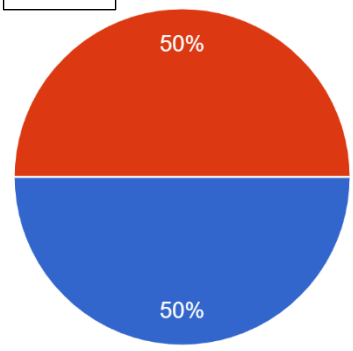
そう思うが２５％増え、成果が上がっていると考える。
歯磨き指導の成果と、運動会・マラソン大会等への取り組み成果が、７月と比べ大きかった。歯と口の健康づくりについては、来年度への見通しを残り２ヶ月で、計画していきたい。

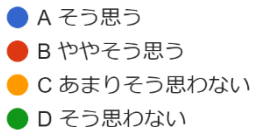
⑥安全点検、交通安全教育、防災・防犯教育等、こどもの安全確保に取り組んでいる。

7月



1月





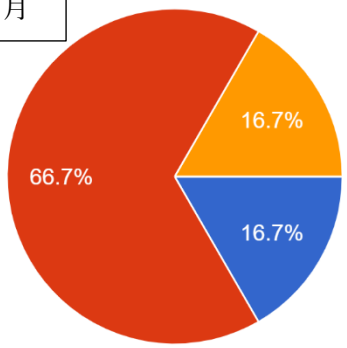
避難訓練、交通安全指導、安全点検などを、当たり前のこととして、意識を高く持って取り組んできた結果であると感じる。

4. その他

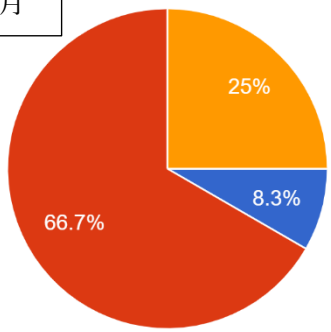
⑦コミュニティ・スクールとして信頼され、地域に開かれた学校づくりを進めている。

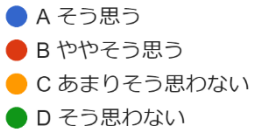
＊サポート・ティーチャーの活用　　＊CS だよりや学校だより等による情報提供

7 月



1 月

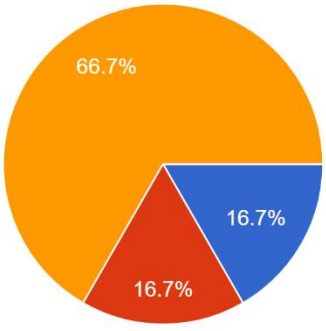




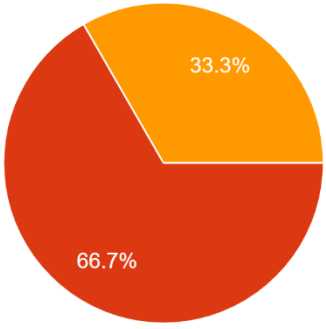
「あまりそう思わない」の割合が 8.3%増えている。1 学期は、家庭科の手縫い実習に多くのサポートティーチャーの協力があったが、2 学期のミシン実習では、あまり協力が得られなかった。年間を見通して、家庭科実習や生活科、総合等で必要な時期、内容、人数等を把握しておき、お知らせをしていきたい。学校運営協議会を通じて、地域にも呼びかけをしていく。

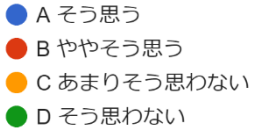
⑧ワークライフバランスを保ったために、業務改善を図り、少しでも早く退勤している。

7 月



1 月

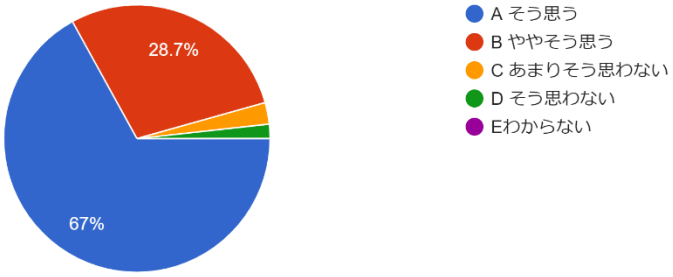




肯定的意見が 2 倍に増えている。職員会議で提案のある先生方は大変だったかもしれないが、事前に資料を一読しておくことで、時間短縮を図れた。スクールバスによる登下校という本校の実態から、なかなか放課後の教材研究や仕事時間の確保ができないのが、課題である。

R5 笛川小　学校評価（保護者アンケート集計結果より）

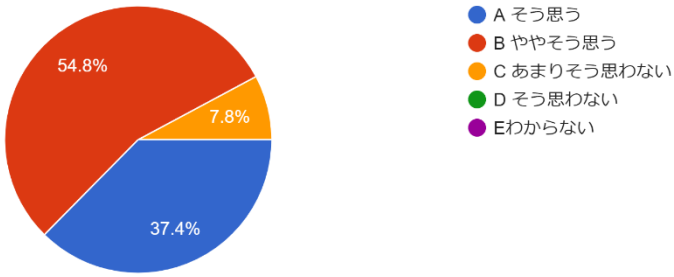
①お子さんは笛川小学校に楽しく通っている。



①学校に楽しく通っているという設問には，そう思う，ややそう思う（肯定的な答え）が 95%を占めている。

あまりそう思わないという少数意見があるので、注視していく必要がある。

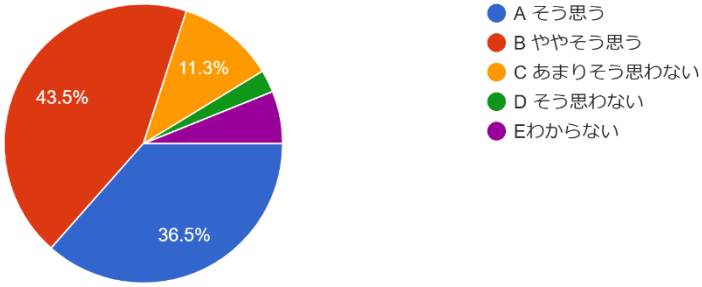
②お子さんは、あいさつができている。



②挨拶ができているという設問には，肯定的な答えが 90%近くを占めている。

あまりそう思わないという回答には、声が小さい、やったりやらなかったりという意見があった。引き続き、指導を継続していく。

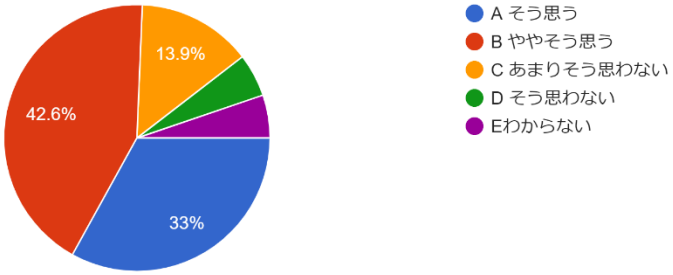
③お子さんは、授業がわかりやすいと感じている。



③授業が分かりやすいと感じているという設問には，肯定的な答えが 80%となっている。

反面，保護者が宿題の様子を見ていて、児童が理解できていないと、否定的に回答している。常に授業改善を心がけてわかりやすい授業をしていく。

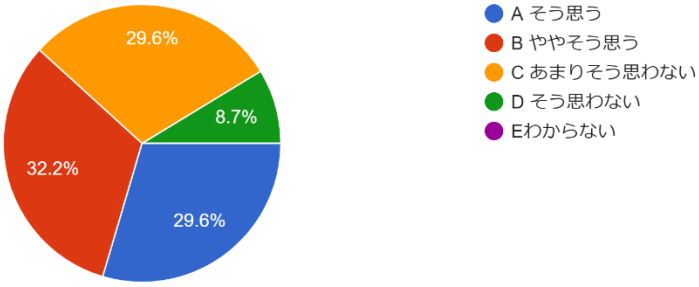
④お子さんは、英語に興味をもち、英語を楽しく学んでいる。



④英語に興味を持ち，楽しく学んでいるという設問には，肯定的な答えが７５％となっている。習った会話や歌のことを家庭で話している児童が多い。

否定的意見が約１９％あるので注意したい。英語が苦手、難しいと感じているようだ。分からないという回答が約５％ある。英語の学習について家庭に伝える等可視化した方が良い。

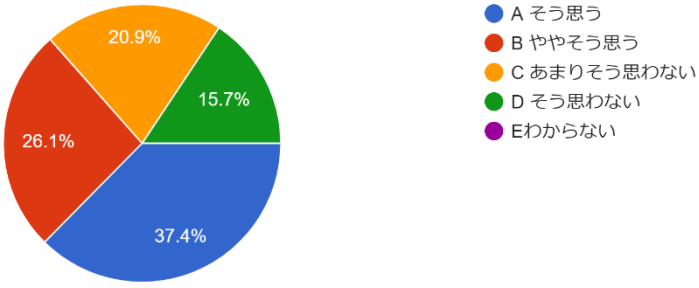
⑤お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。



⑤家庭学習の習慣がついているという設問には，肯定的な答えが約６０％となっている。

否定的な意見が約４０％あるので注視したい。保護者意見からも家庭学習の取り組み方の格差が広がっている様子が見られた。自主的にマイノートに取り組んでいる家庭もあれば、宿題だけでおわってしまう家庭もある。クロムブックに気を取られている児童もいる。

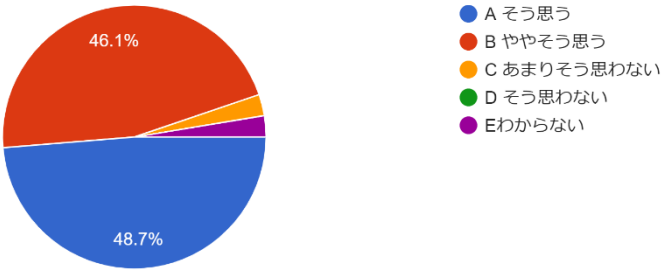
⑥お子さんは、帰宅後や休日などに、運動に親しんでいる。



⑥運動に親しんでいるという設問には，肯定的な答えが６３％であった。スポ少や習い事で運動しているからという理由が多い。

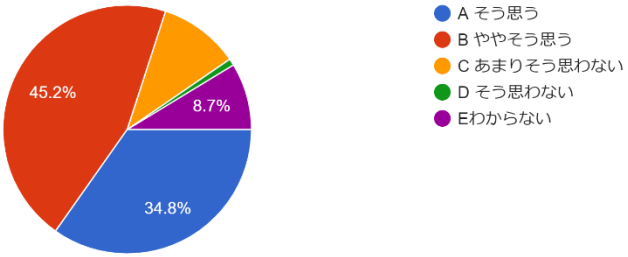
否定的な意見が約３６％ある。地域的に近くに同級生がいなくて、集まって遊ぶこともない。家で過ごすことが多いという理由が見られた。

⑦笛川小学校の子ども達は、仲良く学校生活を送っていると思う。



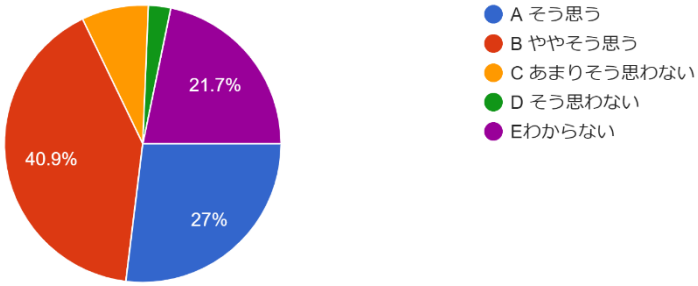
⑦肯定的な答えが約９５％であった。子供たちにとっても学校生活は楽しく送っていると考えられる。３％のあまり思わないという意見には、少しもめごとがあったのでという理由がある。

⑧笛川小学校の子ども達は、よくあいさつをすると思う。



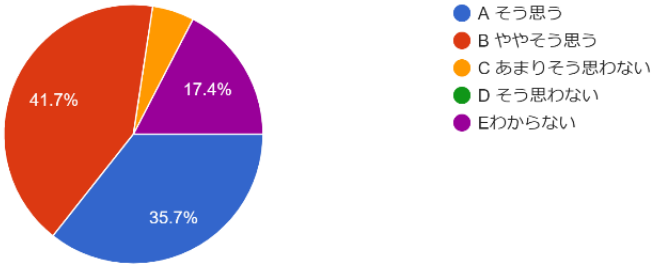
⑧肯定的な答えが約８４％であった。否定的な意見は１１％ある。進んであいさつしてくれるという意見や、同じバス停の上級生があいさつしてくれるという意見がある反面、学校に行ってもあいさつしてくれない、声が小さいなど課題もある。

⑨笛川小学校は、いじめを生まない、いじめをなくす努力をしていると思う。



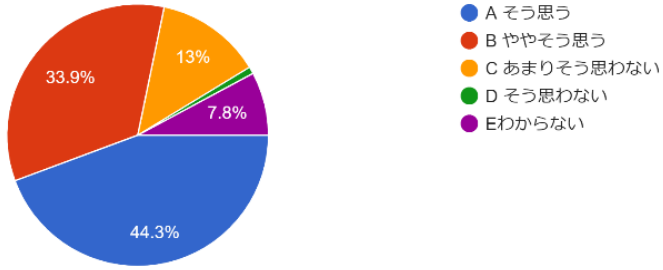
⑨６７％の肯定的な意見は、いじめという話をきかない。トラブルにはすぐに対処してくれているという声があった。否定的な１０％や、わからないという２１％には、具体的な対策がわからない、どんな話を先生が子供にしているのかわからない、という意見があった。いじめ予防の学校の取り組みを家庭に知らせる必要がある。

⑩笛川小学校は、地域の方などの外部講師を招き、学習の充実に努めていると思う。



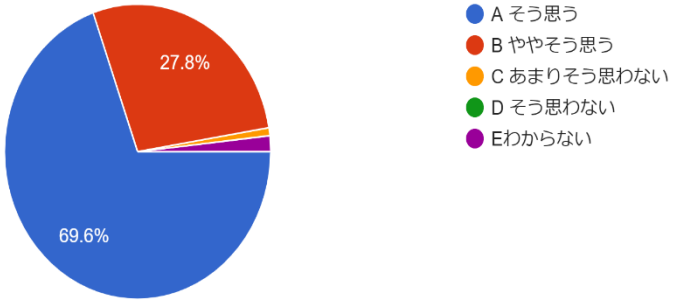
⑩笛川小は外部講師を招き，学習の充実に努めているという設問には，肯定的回答が７７％だった。クラブ活動、親子活動、サポートティーチャーのことを挙げている。わからないという回答が１７％あるので、外部講師を活用している取り組みについて知らせていきたい。

⑪笛川小学校は、子ども達が運動する機会を十分つくっていると思う。



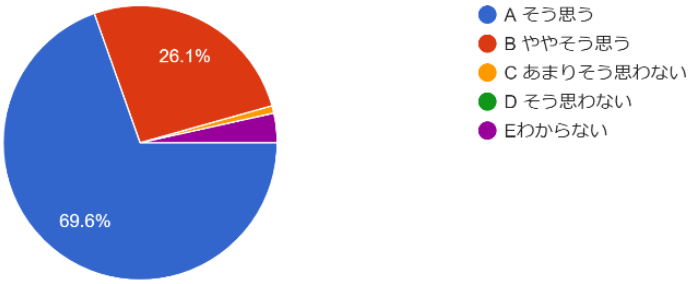
⑪肯定的な回答が７８％だった。保護者意見からも運動会、マラソン大会やのなわとび等の取り組みについては評価されていた。一方、他校と比べると運動機会が少ないという意見や、プール授業回数減、夏休みプール無しという点で否定的な意見もあった。

⑫笛川小学校は、交通安全・防災・防犯など、安全確保に努めていると思う。



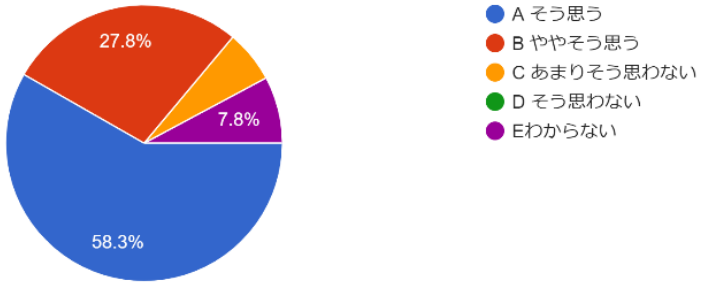
⑫笛川小は安全確保について肯定的な回答が９７％あった。保護者意見からは登校班やスクールバスへの対応，マチコミの不審者対応をしている、交通安全教室への評価があった。

⑬笛川小学校は、感染症対策、熱中症対策、歯磨き指導など、健康管理に努めていると思う。



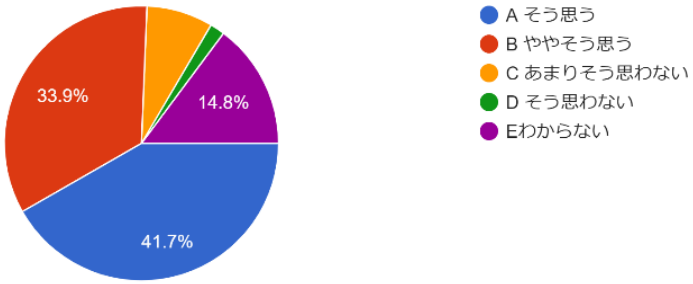
⑬肯定的な回答が９５％あった。マチコミや保健便りなどでお知らせがあるとの回答。
少数ではあるが、バスの中でのマスクの着用や給食黙食が続いている点への否定的意見があった。

⑭笛川小学校は、学校の取り組みや様子などを家庭や地域に知らせていると思う。



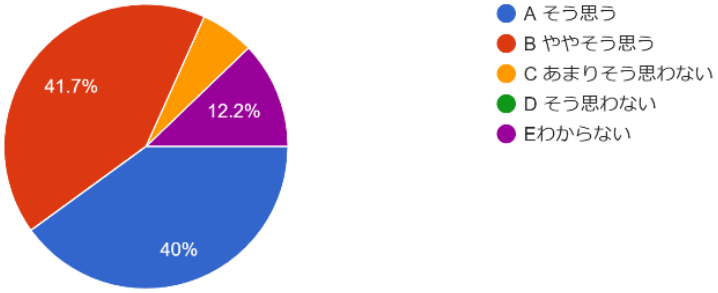
⑭学校の取り組みを家庭や地域に知らせているかという設問には，肯定的な回答が８６％だった。学校だよりや学年だよりにより学校の様子が分かるという意見が多かった。地域にはどうかわからないという回答もあった。

⑮笛川小学校は、子ども達の言うことに耳を傾けてくれていると思う。



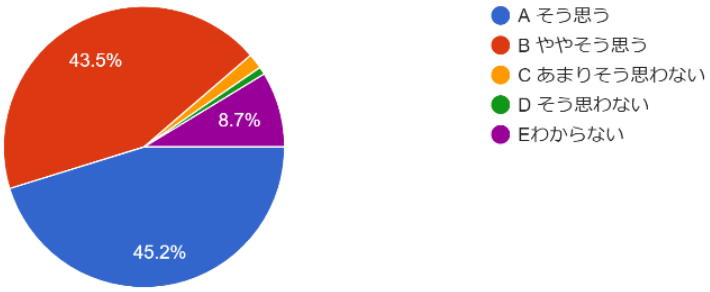
⑮子供たちの言うことに耳を傾けているかという設問には，肯定的な回答が７５％だった。先生はよく聞いてくれているという保護者意見が多かった。一方で、人によって対応が違うという話を聞くという回答もあった。学校全体で気を付けていきたい。

⑯笛川小学校の先生は、「ほめて育てる」教育をしていると思う。



⑯ほめて育てる教育をしているかという設問には，肯定的な回答が８１％だった。保護者意見からも学級で担任と児童との良好な関係性が伺える内容が多かった。子どもから褒められたという話を聞かないから、わからないという回答もあった。保護者との連携を密にして、児童の良いところを伝えていくことが必要である。

⑰笛川小学校の先生は、子ども達にわかりやすく学習内容を教えていると思う。



⑰分かりやすく教えているかという設問には，肯定的な回答が８８％であった。
保護者意見からも学校では分かりやすい授業の取り組みをしていると評価されている。
休んだ時のフォローをしてほしい。個人差をうめきれていないという指摘もあった。

学校評価分析
〇保護者と教職員の信頼関係のもとに、本校の教育活動が実施できている。
〇教育活動の様子（外部講師、いじめ防止の取組、学校行事等）を保護者・地域にお知らせして、本校教育への理解をさらに深めていく。

▲児童の様子で気になることはすぐに連絡することは勿論であるが、良かったところも保護者に伝えていく。
▲挨拶、家庭学習については、定着をめざして引き続き取り組んでいく。
▲外遊びの機会も減っている中、縄跳び等で体力作りを進めていく。